

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 北方町

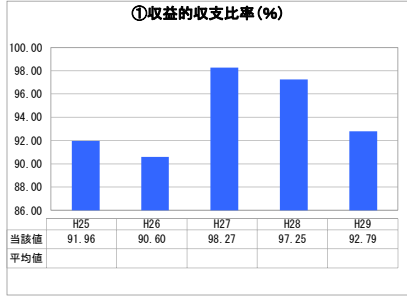
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.99	94.82	2,862

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,510	5.18	3,573.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,475	3.98	4,641.96

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



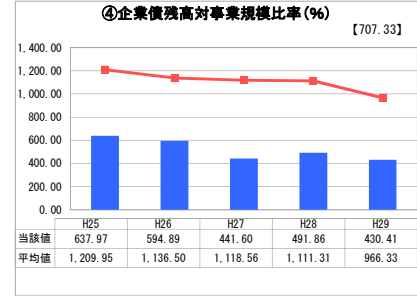
「単年度の収支」



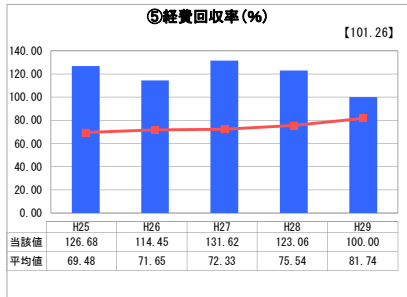
「累積欠損」



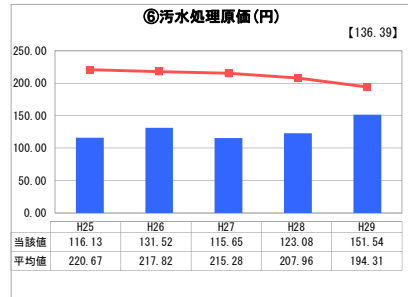
「支払能力」



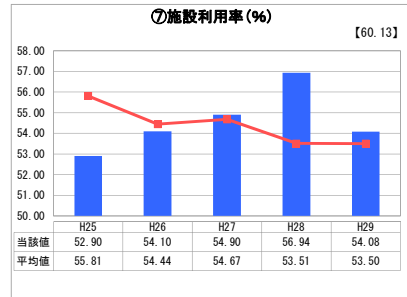
「債務残高」



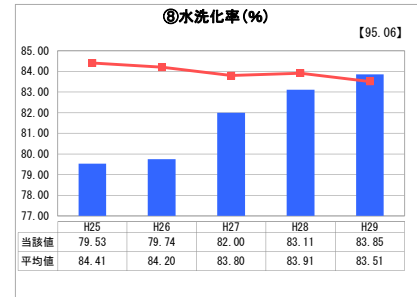
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

## 分析欄

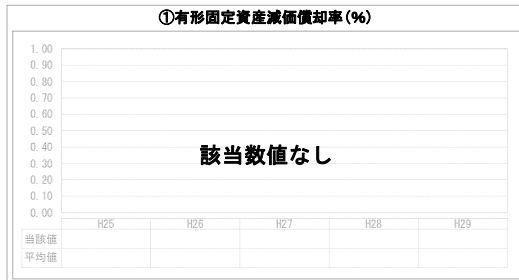
### 1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性については、経費回収率は全国平均を若干下回っているが、ほぼ平均値であり、汚水処理原価が全国平均を大きく上回っており経営改善の検討をさらに推進していく必要がある。また、収益的収支比率が微減傾向にあり、変わらず一般会計からの繰入金を地方債の償還に充てている状況であるため、今後も引き続き使用料収入の見直しや経費の削減などの健全度を上げていく検討が必要である。経営の効率性については、施設利用率及び水洗化率はやや上昇傾向であり、今後も積極的に未接続世帯の下水道切替を進めていく必要がある。

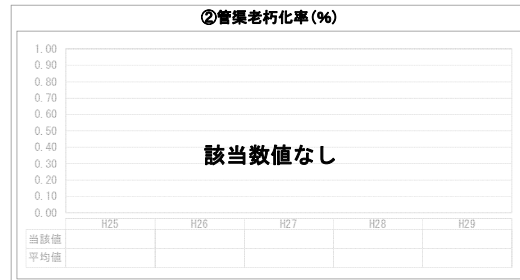
### 2. 老朽化の状況について

平成10年4月の供用開始から約20年ほど経過しているが、早急に管まの改築などを行わなければならない状況ではないと考える。有収率については年度ごとで増減しているが悪化はしておらず、管まの修繕などについて急な増加は予想されないが、計画的な老朽化対策をおこなうため、ストックマネジメント計画に基づく施設の更新などの適切な改築計画を設ける必要がある。また、ふれあい水センターについては、ストックマネジメント計画に基づき、電気設備長寿命化工事を財源を確保しながら順次実施していきます。

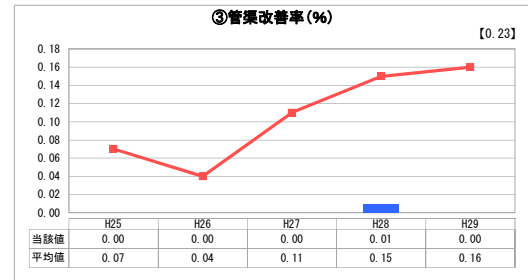
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 全体総括

収益的収支比率は昨年より下がり、健全度も減少していると考えられる。また、施設利用率及び水洗化率は平均を下回る状況が続いている。経営の健全化のためには使用料収入の向上を図る必要がある。そのため、水洗化率を向上させるため今後も広報誌などによる未接続世帯への啓発活動に努めていきます。また、地方債の償還状況や使用料収入の推移を見ながら使用料の改定を行うなど、安定した経営を目指し経営の健全化に努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。